



春日部市立桜川小学校

# 学校だより

2月号 平成30年2月1日発行

春日部市大倉496-1 TEL746-6238 児童数675名(2/1現在)

桜川小HP <http://www.sakuragawa.av-center.kasukabe.saitama.jp>

## 学校教育目標

- 進んで学ぶ子(かしこく)
  - 思いやりのある子(やさしく)
  - 体をきたえよく働く子(たくましく)
- ～地域と共に歩む  
笑顔あふれる活力ある学校～

## 2月の生活目標

## 広がらないように歩こう

### たこ！たこ！揚がれ

1年生がスーパーのレジ袋でつくった凧をあげていました。校庭を走り回って元気に凧をあげて(ひっぱる?)います。みんな笑顔でとても楽しそうです。楽しいことをしていると疲れのないですね。先生も楽しそうです。



## 雪持松

中島 剛

3学期が始まり、一か月が過ぎました。1月には、書き初め展や埼玉美術展、ふれあいアート展などの展覧会がありました。展覧会へ行き作品を見ると、作者一人一人の顔が思い浮かぶような、その子らしい素晴らしい作品ばかりでした。

また、小学校授業公開では、近隣の幼稚園・保育園、葛飾中学校、庄和高校の先生方にも参観していただきました。その後の研究協議でも、それぞれの発達段階に応じた指導・支援の在り方について話し合いました。異校種の先生方の見方は、今後の教育活動を進める上で大変参考になりました。しかし、インフルエンザの影響で学級閉鎖や授業短縮をした学級もありました。今後も、手洗い・うがいの励行、マスク着用、規則正しい生活等のご協力をお願いします。

さて1月末の大雪で、校庭は一面雪景色です。その後も気温が上がらないため、なかなか雪はとけません。校庭で元気に遊ぶ子供達の姿を一日も早く見たいと思い、校庭の雪かきをしています。なかなかかどりません。春が待ち遠しく感じます。

雪といえば、着物などの文様に『雪持松(ゆきもちまつ)』というのがあります。松に雪が降り積もっている風景を、図案化した物です。常緑の松に、真っ白い雪。本当に美しい取り合わせです。松の木といえば、神の宿る木と言われ、その語源は、神様がおりてくるのを待つといひます。待つことには、不安や心配が伴います。それなのに、寒い日に雪が積もってもいつもと変わらない凛とした姿、美しい風格で待っている「松」。そのような松の姿を、昔の人々は感動をもって見ていたのでしょう。今の私達も、自然の中のよさや美しさを感じ取れる感性を育てていくことが大切です。

また、コメディアンの中本欽一さんは書の中で『いい言葉には、幸運を手繰り寄せたり、人生を好転させる力があります。仕事で大成功する人、磁石のように周囲の人間を惹きつける人は、そろって言葉遣いの名手です。』と述べています。

桜っ子が、『雪持松』という美しい言葉がある日本語を大切に使い、いい言葉・美しい言葉を使えるようになってほしいと願っています。

卒業・進級まであと二か月です。今年度のまとめの時期でもあり、新年度に向けての助走の時でもあります。これからも、日々の教育活動の中で、自然や人、事柄とのかかわりを通して、桜っ子の豊かな心とよさに気付く眼を育てていきたいと考えています。今後とも、保護者の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力をお願いします。



雪一面の桜川小学校

## 楽しかった雪遊び

降った雪がまだまだいっぱい残っているの、子どもたちは朝から元気に雪遊びを楽しんでいます。大人にとっては・・・ですが、子どもたちにとっては良いプレゼントになりました。校庭の子どもたちの歓声がいつもより大きいです。



## グループホーム『あすなるホーム』訪問

5年生は、近隣の「あすなるホーム」を訪問し、合唱と合奏を発表しました。入所者の方々も大変喜んでいました。発表する子供達も充分満足したようで、最後に一人一人と握手をして分かれました。5年生にとっても忘れられない体験だったと思います。



## 転出調査のご協力ありがとうございました。

調査を提出した後、転出が決まりましたらできるだけ早く学校まで連絡をお願いします。また、ご近所に他地域から転居され桜川小に転入される児童の情報などがありましたら、学校までご一報をいただくと助かります。よろしくお願いします。

